

I. CAP(子どもへの暴力防止)プログラム提供事業



1. 主な活動実績

子どもたちを取り巻く環境は、決して安心とは言えず、イジメ、虐待、連れ去りなどによって、暴力にさらされている子どもたちの報道が後を絶たない。痛ましい事件の報道に触れると、無力感にさいなまれることも多いが、私たちにはCAPプログラムを通じて、子どもたちと子どもを取り巻くおとなたちをエンパワメントすることができるという信念がある。平成 28 年度は、以下の事業を行った。

①寄付によって CAP プログラムを提供する仕組みづくりとして、「1 万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」事業を引き続き行った。

- ・平成 28 年度は県内の小学校 25 校 59 クラスの小学生 1860 人に CAP を提供することができた。26 年 9 月に開始した本キャンペーンでの受講者総数は、4352 人となった。
- ・12 月 4 日にかながわ県民センター、3 月 4 日(株)サンブロードバンド(東京・岩本町)にて、ドネーションパーティーを開催した。
- ・かながわ生き活き市民基金「エラベル」プログラムによって、12 月 1 日～3 月 20 日の期間に支援をお願いしたところ、3 月 20 日までに、446,700 円の寄付が集まった(手数料差引 379,695 円を受領予定)。また、団体への直接寄付を 454,400 円受領することができた。

②「1 万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」の中間報告会を兼ね、5 月 22 日杉山春さんを招き「イジメはおとなの責任？」講演会を実施した。

③川崎市教育委員会の協力を得、また、かわさき市民しきん「あとおし 2015」で集まった 361,950 円を活用し、川崎市内中学校 4 校にて、CAP 中学生暴力防止プログラムを実施することができた。
他にも、川崎市内 1 校で実施することができた。

④川崎市内中学生殺害事件から 2 周年に近い 2 月 19 日、「いのちキャンペーン」として川崎駅前にて路上ライブと募金活動を実施した。「あとおし 2016」で一緒に寄付活動していたダンスラボラトリーの協力をいただき、ダンスと音楽のチカラで市民に寄付を呼び掛けることで、道行く人の関心も高まり、新聞でも取り上げられた。
同日、川崎市ふれあい館にて「中学生を被害者にも加害者にもしないためにおとなができること」と題し、公開 CAP おとなワークショップを開催した。

⑤次年度も川崎市内中学校に CAP 中学生暴力防止プログラムを届けるため、かわさき市民しきん「あとおし 2016」として、12 月 1 日～3 月 15 日の期間、支援をお願いしたところ、494,697 円の寄付が集まり、手数料を差し引いた 420,492 円を受領した。2017 年度は川崎市教育委員会の協力を得て実施校を募り、中学校 6 校に実施することが決まった。

⑥川崎市、相模原市から委託を受け事業を実施した。

2. 年間ワークショップ数

208 回を実施。(計画は、240 回)

プログラム	対象	実績	計画
小学生プログラム	おとな向け(保護者)	12	22
	おとな向け(教職員)	4	5
	子ども向け	72	69
中学生プログラム	子ども向け	26	32
	おとな向け(教職員・保護者)	9	7
就学前プログラム	おとな向け(保護者)	1	2
	子ども向け	2	1
CAP キャンペーン	子ども向け(小学生)	59	66
	おとな向け(保護者・教職員)	25	26
合計		208	240

※教職員向けは対象が教職員のための開催数とします。

3. 行政委託事業

川崎市教育委員会・相模原市教育委員会

川崎市教育委員会事業 小学校 16 校 51 クラス

相模原市教育委員会事業 小学校 3 校 9 クラス

4. 「1万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」

概要: 支援者からの寄付 1 万円で交通費等の経費を賄い、1 クラス(40 人まで)の子どもたちとその学校の保護者や教職員に提供する。受講した子どもが 1 万人に達した時点で終了する。(26 年 9 月開始)

対象: 神奈川県内の小学校

クラスごとに子ども向け CAP プログラムを提供する。(1 学年のクラス数まで応募可能)

実施条件: 子ども向け CAP プログラムの他に、おとな向け(保護者または教職員向け)を実施する。

受講した子どもの感想を寄付者に贈ることに協力いただく。

実施校名・受講者数などをエンパワメントかながわの HP 等で公表する。

実績: 28 年度は、以下の 25 校 59 クラスで実施。

本キャンペーン開始からこれまでに 4352 人の小学生が受講した。

5 月 16 日 横浜市立八景小学校(5 年生 2 クラス) 7 月 25 日 保護者向け

5 月 23 日 横浜市立藤塚小学校(4 年生 2 クラス) 5 月 20 日 保護者向け

7 月 6 日 横浜市立東品濃小学校(5 年生 2 クラス) 同日 保護者向け

7 月 8 日 横浜市立西寺尾小学校(4 年生 2 クラス) 同日 保護者向け

7 月 13 日 横浜市立さが丘小学校(1 年生 3 クラス) 9 月 15 日 保護者向け

7 月 14 日 山北町市立三保小学校(低学年、高学年 2 グループ) 10 月 25 日 保護者向け

7 月 20 日 横浜市立大口台小学校(3 年生 2 クラス) 7 月 27 日 教職員向け

9 月 6 日 横浜市立六つ川小学校(4 年生 2 クラス) 1 月 12 日 保護者向け

9月9日 横浜市立あざみ野第二小学校(1年生3クラス)10月21日教職員向け
 10月4日 横浜市立東住吉小学校(4年生2クラス)同日保護者向け
 10月5日 横浜市立日野南小学校(4年生2クラス)同日教職員向け
 10月13日 横浜市立西寺尾第二小学校(3年生3クラス)同日保護者向け
 10月19日 横浜市立東俣野小学校(6年生2クラス)9月5日保護者向け
 10月26日 伊勢原市立石田小学校(1年生3クラス)同日保護者向け
 11月7日 横浜市立芹が谷小学校(3年生2クラス)同日保護者向け
 11月14日 葉山町立一色小学校(3年生2クラス)11月10日保護者向け
 11月17日 横浜市立市沢小学校(2年生2クラス)同日教職員向け
 11月28日 横浜市立港南台第三小学校(4年生1クラス)11月8日保護者向け
 12月5日 横浜市立万騎が原小学校(3年生2クラス)11月1日保護者向け
 12月7日 平塚市立真土小学校(6年生3クラス)10月18日保護者向け
 12月9日 横浜市立霧が丘学園小学部(4年生3クラス)同日保護者向け
 12月13日 横浜市立杉田小学校(3年生4クラス)11月30日教職員向け
 12月15日 秦野市立上小学校(5、6年生1クラス)同日教職員向け
 12月16日 三浦市立初声小学校(3年生3クラス)同日保護者向け
 12月20日 横浜市立新鶴見小学校(4年生4クラス)12月19日保護者向け

決算:

今年度にCAPキャンペーンに集まった寄付額は、454,400円。前年度期首残高750,168円と
 合わせて1,204,568円のうち、840,000円を使用したため、残額364,568円を翌期に使用することとする。
 26年9月以降29年3月末までの総寄付額は2,294,568円となった。

5. 主催イベント

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
5月22日(日) 14時30分～17時	「1万人の子どもにCAPを届けるキャンペーン」 中間報告会・講演会「イジメはオトナの責任？」 講師:杉山春	ウィリング横浜	52人
12月4日(日) 15時30分～17時00分	エンパワメントかながわドネーションパーティー CAP月間 公開講座	かながわ県民センタ ー	12人
1月20日(金) 18時30分～20時30分	中学生向け暴力防止プログラムおとな説明会	ミュージア川崎	3人
2月19日(日) 10時～12時 14時～15時	第2回いのちキャンペーン「川崎から愛をこめ て」	川崎ふれあい館 川崎駅前	12人 多数
3月4日(土) 15時30分～17時30分	エンパワメントかながわドネーションパーティー	(株)サンブロードバン ド	10人

Ⅱ. デートDV予防・啓発事業



1. 主な活動実績

- ① 独立行政法人福祉医療機構より助成を受け、「デートDV防止対策推進事業」を実施し、デートDV防止全国ネットワークを設立した。また、全国デートDV実態調査を実施し、調査結果を「デートDV白書VOL.5」として、報告した。5回目となるデートDV防止スプリング・フォーラムには136人が参加した。
- ② 日本財団預保納付金助成事業として、「デートDV予防プログラム実施者養成普及事業」を実施し、新たに、大学生向けおよび教職員向け実施者養成講座をプログラム化した。
- ③ ファイザープログラムから助成を受け行った「デートDVの実態から女性の生きづらさと適切な支援方法を明らかにするための研究事業」が終了し、「デートDV白書VOL.4」として研究成果を報告した。
- ④ 日工組社会安全研究財団から助成を受け、「デートDV電話相談事業および電話相談員養成事業」を実施し、298件の相談を受け、また相談員4名が登録した。
- ⑤ 男女共同参画センター横浜からの委託を受け、横浜市内中学校・高等学校に対し、30回のワークショップを提供した。
- ⑥ ワークショップの提供においては、川崎市人権・男女共同参画室、かながわ男女共同参画センター、逗子市、茅ヶ崎市、東京都目黒区、茨城県古河市などから委託を受けて中学校・高等学校・大学で実施した。

2. 年間ワークショップ数

153回を実施。(計画は123回)

	対象	実績	計画
男女共同参画センター横浜	中学生向け	20	30
	高校生向け	9	
	教職員向け	1	
かながわ男女共同参画センター	高校生向け	2	4
	大学生向け	2	
川崎市(男女共同参画センター・人権男女共同参画室)	高校生向け	1	7
	大学生向け	6	
その他	中学生向け	4	25
	高校生向け	23	
	大学生向け	8	
	おとな向け(教職員等)	12	9
養成講座	相談員・実施者(基礎研修・中学生向け・高校生向け・大学生および教	54	40

	職員向け・フォローアップ)		
リボン・プロジェクト	高校生向け	11	8
合計		153	123

3. 行政委託事業

①男女共同参画センター横浜「デートDV防止啓発」事業

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会(男女共同参画センター横浜)より委託を受け、横浜市内の中学(15校)、高校(8校)、において生徒向けおよび教職員ワークショップを実施し、合計約4,200人が受講した。

②神奈川県立かながわ男女共同参画センター「デートDV防止講座」事業

神奈川県立かながわ女性センターより委託を受け、県内の高校2校、大学2校において、約1000人の大学生に、デートDV予防ワークショップを実施した。

③川崎市男女共同参画センター委託事業

川崎市男女共同参画センターより委託を受け、高等学校1校においてワークショップを実施し、約80人が受講した。

④川崎市人権・男女共同参画室委託事業

川崎市人権・男女共同参画室より委託を受け、大学および専門学校6校にてワークショップを実施し、約500人が受講した。

4. 助成金事業

①日本財団預保納付金にかかる助成金事業「デートDV予防プログラム実施者養成普及」事業

大学生向けおよび教職員向け実施者養成講座のための教材作成と養成講座の実施他

26年度の中학생向け、27年度の高校生向けに引き続き、大学生向けおよび教職員向けデートDV予防プログラム実施者養成講座のプログラム開発および教材制作を行った。さらに、これらの実施者養成講座を全国に普及していくために、マーケティングについてのコンサルティングを受け、広報活動を充実させる取り組みを行った。実施者養成講座の間口を広げるために、緊急企画「撮っちゃダメでは防げない」と題した無料講座を3回開催。基礎研修5回(東京、水戸、横浜、宮崎、横浜)、中學生向け実施者養成講座2回(横浜、東京)、高校生向け実施者養成講座2回(横浜、水戸)、中學生向けフォローアップ研修1回、高校生向けフォローアップ研修1回を開催した。そのうえで、中學生向けまたは高校生向け実施者養成講座の修了者を対象に、大学生向けおよび教職員向け実施者養成講座(プレミアムコース2日間)を2回開催し、10名が修了した。

大学生向けと教職員向けにそれぞれ、テキストとパワーポイントを作成。大学生向けには、動画と学生配付用冊子を作成、教職員向けには、「デートDV対応マニュアル」を作成した。

決算:

収入	助成金	3,470,000	支出	諸謝金	1,500,500
	自己資金	30,753		交通費	267,616
				委託費	1,010,000
				所費	722,637
収入合計		35,000,753	円	支出合計	35,000,753 円

②公益財団法人日工組社会安全研究財団助成金事業「デート DV 電話相談事業および電話相談員養成事業」

電話相談員を養成するため、かながわコミュニティカレッジ連携講座として、電話相談員養成講座を開催し、4 名が修了した。また、増加する相談件数に対応するため、2 回線対応に変更し週 2 回（毎週火曜日夜 3 時間 土曜日午後 4 時間）実施したところ、年間 298 件の相談があった。

決算：

収入	助成金	1,432,958	支出	人件費	853,000	（雑給他）
	参加費	120,000		通信費	232,958	
	自己資金	325,536		謝金・交通費	531,226	
				所費	261,310	
収入合計		1,878,494	円	支出合計	1,878,494	円

③2015 年度ファイザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援

「デート DV の実態から女性の生きづらさと適切な支援方法を明らかにするための研究」事業

デート DV110 番の 5 年間の相談データ 722 件を分析集計し、中堅世代（20 代～50 代）の女性がデート DV の被害に至る背景や、被害による生活や精神面への影響を明らかにし、「デート DV 白書 VOL.4」としてまとめ、発行した。適切な支援につなげるために、聴き取りや情報提供に活用できる相談記録シートを開発した。

決算：

収入	助成金	2,120,000	支出	諸謝金	480,000
	自己資金	50,524		人件費	1,015,000
				委託費	160,000
				所費	515,524
	収入合計	2,170,524	円	支出合計	2,170,524
					円

④独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業「デート DV 防止対策推進事業」

デート DV を予防し、また被害を最小限に食い止めることで児童虐待の連鎖を断ち切ることを目的に、デート DV 防止に関わる様々な機関や団体が全国的なネットワークを構築することで、その実態を明らかにし、より効果的な防止対策を検討する。さらに政策や法整備について提言していくことで、防止対策を推進する事業。

- 1) ガールスカウト日本連盟、DV 防止ながさき、岩手県 BBS 連盟および当団体の 4 団体で設立委員会を 5 回開催した。デート DV 防止全国マップをすることを決め、案内したところ、80 の団体から希望があり、デート DV 防止全国マップとして掲載した。名称を「デート DV 防止全国ネットワーク」と決め、賛同を募ったところ、57 の団体と 40 人の個人が賛同した。
- 2) デート DV の実態について全国規模での調査を行った。28 年 10 月から 12 月に、1 都 10 県において実施。デート DV 予防教育を受講した中学生・高校生・大学生 2868 人を対象とし、2825 人から回収、有効回答数 2122 人を得た。調査結果を「デート DV 白書 VOL.5 全国デート DV 実態調査報告書」として発行した。
- 3) 29 年 3 月 19 日（日）男女共同参画センター横浜にて、デート DV 防止スプリング・フォーラムを開催。全国 21 都道府県より、136 人が参加し、当日、「デート DV 防止全国ネットワーク」を設立した。
内閣府男女共同参画局、文部科学省、厚生労働省、神奈川県、横浜市、一般社団法人若草プロジェクト、

NPO 法人全国女性シェルターネット、認定 NPO 法人チャイルドファーストジャパンから後援を受けた。

調査結果がまとまった時点で、プレスリリースを行ったところ、新聞やテレビ、ラジオ等 20 近いメディアから取材を受け、報道された。

決算:

収入	助成金	2,540,000	支出	諸謝金	1,244,000
	事業収入	368,000		旅費	835,164
	自己資金	383		所費	829,219
収入合計		2,908,383	円	支出合計	2,908,383
					円

5. 主催イベント・講座

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
6 月 3 日(金) 19 時～20 時 30 分	緊急企画「撮っちゃダメでは防げない」	協働ステーション中央	10 人
6 月 19 日(日) 10 時～17 時	デート DV 対応スキルを学ぶ基礎研修	協働ステーション中央	5 人修了
7 月 1 日(金) 19 時～20 時 30 分	緊急企画「撮っちゃダメでは防げない」	かながわ県民センター	5 人
7 月 24 日(日) 9 時 30 分～16 時 30 分	デート DV 対応スキルを学ぶ基礎研修	水戸市福祉ボランティア会館	16 人修了
8 月 6 日(土) 10 時～12 時	緊急企画「撮っちゃダメでは防げない」	かながわ県民センター AIDS 文化フォーラム参加企画	12 人
8 月 7 日(日) 10 時～17 時	デート DV 対応スキルを学ぶ基礎研修	かながわ県民センター	13 人修了
8 月 10 日(水) 10 時～17 時	中学生向けデート DV 予防プログラム実施者養成講座修了者フォローアップ研修	ウィリング横浜	6 人
8 月 11 日～13 日 10 時～17 時	高校生向けデート DV 予防プログラム実施者養成講座	かながわ県民センター	延べ 18 人参加 5 人修了
9 月 18 日・19 日 9 時 30 分～16 時 30 分	中学生向けデート DV 予防プログラム実施者養成講座	ウィリング横浜	延べ 4 人参加 2 人修了
10 月 9 日・10 日 10 時～17 時	大学生向けおよび教職員向けデート DV 予防プログラム実施者養成講座	ゼンハーモニック (麴町)	延べ 14 人参加 7 人修了
10 月 22 日・23 日 9 時 30 分～16 時 30 分	大学生向けおよび教職員向けデート DV 予防プログラム実施者養成講座	ウィリング横浜	延べ 7 人参加 3 人修了

11月20日(土) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	宮崎県男女共同参画センター	25人修了
12月26日(月) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	かながわ県民センター	8人修了
1月8日・9日・14日 9時30分～16時30分	高校生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	水戸市福祉ボランティア会館 桜川市民センター	延べ24人参加 8人修了
2月4日・5日 10時～17時	中学生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	サンブロードバンド(岩本町)	延べ4人参加 2人修了
3月5日(日) 10時～17時	高校生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座修了者フォローアップ研修	かながわ県民センター	4人
3月19日(日) 10時～16時20分	デートDV防止スプリング・フォーラム2017	男女共同参画センター 横浜	136人

Ⅲ. 各種人権啓発事業



1. 主な活動実績

①すきっぷ(子どもの護身法)プログラム

- ・継続校3校での1年生と保護者に向けプログラムを実施した。
- ・新規校2校での2年生と全学年に向けプログラムを実施した。
- ・保育園の依頼を受け、保護者に向けプログラムを実施した。
- ・エンパワメントかながわのプログラムを知ってもらうための「ねっこプロジェクト」の一環として、川崎市宮前区「アリーノ」にてすきっぷ公開講座を2回実施した。
- ・港南区社会福祉協議会「こうなんふれあい助成金」にて、公開講座を1回開催した。
- ・緑区地域振興課からの依頼で「子ども向け防犯ワークショップ」として公開講座を1回実施した。

②特別支援学級に通う子どもへの暴力防止(ほっと)プログラム

- ・知的障がいのある子ども向け入所施設で、小学生向けと中高生向けに実施した。中高生にはデートDV防止をテーマに取り入れた。
- ・相模原市の障害者支援センターで、保護者と利用者向けに(株)ファンケルの支援を受け、ほっとプログラムを実施した。

③子育てがラクになるワークショップ

- ・茅ヶ崎市の子育て支援拠点にて実施した。
- ・子育て広場の職員研修として横浜市内で実施した。

・埼玉県戸田市教育委員会の依頼を受け、保護者向けの講演会を実施した。

④虐待予防の保育士研修

・都内 3 カ所の子育て支援団体で職員研修として実施した。

⑤各種人権啓発プログラム

- ・神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および特別支援学校の教職員向けの人権研修を実施した。
- ・川崎市男女共同参画センターからの委託を受け、女性のためのサポートグループにて 7 回事業を実施した。
- ・かながわ県民センター市民活動フェアで子育てがラクになるワークショップを実施した。
- ・日本 NPO センターの依頼を受け、当団体の NPO 組織基盤強化についての取り組みを 3 回発表した。

2. 年間ワークショップ数

70回を実施。(計画は、52回)

		実績	計画
すきっぷプログラム	子ども向け 保護者向け	26	12
ほっとプログラム	子ども向け、職員向け等	5	4
子育てがラクになるワークショップ	保護者向け、職員向け	4	5
その他各種人権プログラム	教職員等	29	25
	EK セミナー	6	6
合計		70	52

3. 行政委託事業

①神奈川県教育委員会校内人権研修事業

神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および特別支援学校の教職員向けの人権研修として参加体験型研修を 12 校 12 回実施した。

4. 助成金事業

①こうなんふれあい助成金

港南区社会福祉協議会より助成金を受け、すきっぷ(子どもの護身法)プログラムの普及を目的に、公開講座を開催した。港南区内の幼稚園、保育園に広報し、就学前の子どもや保護者が参加した。

決算:

収入	事業収入	2,500	支出	諸謝金	24,000
	自己資金	10,277		交通費	5,388
	助成金	45,000		所費	28,389
	収入合計	57,777	円	支出合計	57,777 円

②女性のためのサポートグループ相談 委託事業

川崎市男女共同参画センターすくらむ21との協働で、DVに悩む女性を対象とした、全7回の研修事業を行った。
参加者、専門相談員延べ27名が参加した。

決算:

収入	委託金	300,000	支出	諸謝金	253,000
	自己資金	14,988		交通費	38,262
				所費	23,726
収入合計		314,988	円	支出合計	314,988
					円

5. 主催イベント

エンパワメントかながわ活動報告会(EK セミナー2016)

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
5月13日(金)	すきっぷプログラムより 子どもの護身法でおとなが知っておきたいこと	かながわ県民センター 11階コラボスタジオ	6人
7月15日(金)	障がいのある子どものための暴力防止(ほっと) プログラムより 障がいのある子どもが安心してするために	いずれも 18時30分～20時30分	8人
9月30日(金)	デートDV予防プログラムより 交際相手からの暴力、10代への啓発		7人
11月18日(金)	CAP(子どもへの暴力防止)プログラムより CAPワークショップを体験しよう		8人
1月27日(金)	はっぴいふぁみりいプログラムより 家族一人ひとりの安心のために、今、できること		7人
3月24日(金)	エンパワメントかながわ 2016年度活動のまとめ		8人

IV. 広報事業

1. WEBを利用した告知により集客拡大と寄付・会員獲得に寄与

- ・Facebook 広告と Google Ad Grants(Google for Nonprofits プログラムに採択され AdWords のオンライン広告費を助成)を通じてイベント告知や寄付への働きかけを行い、集客や寄付獲得につながった。
- ・実施者養成講座および CAP キャンペーンにかかわるランディングページを団体ホームページ内に作成し、広告との連携を高めた。
- ・団体ホームページに寄付および会員募集のための特設ページを設置し、クレジットによる決済も可能となった。

2. 団体のイベント情報を効果的に発信しメディアに掲載

- ・メールマガジンを5月より創設し、メルマガ購読者へ月1回の配信が始まった。
- ・プレスリリースの配信により、複数のメディアに取り上げられ、注目度が上がった。
(リリース配信4回: デートDV白書4号、いのちキャンペーン、デートDV防止スプリング・フォーラム、デートDV白書5号)
- (掲載メディア: 東京新聞、毎日新聞、神奈川新聞、朝日新聞、しんぶん赤旗、タウンニュース、Yahoo ニュース、ハフィントンポスト、NHK、フジテレビ、アベマTV、J-WAVE 等)

3. 団体啓発サイトの運営とSNSによる情報発信

- ・団体ホームページに最新ニュースを随時掲載し、Facebook ページ、インスタグラムとの連携を行った。
- ・デートDV110 番相談サイトより、デートDVに関するイベント告知等の情報を発信した。
- ・デートDV 啓発サイト「それってデートDV なんじゃない？」のパソコンサイトおよび携帯サイトを運営した。

＜アクセス数＞

- ・団体ホームページ: 平成28年度18,000件(ページビュー44,000件)
(平成27年度24,000件、平成26年度29,000件、平成25年度34,800件、平成24年度5,200件)
- ・デートDV110 番相談サイト: 平成28年度65,000件(平成27年度15,000件、平成26年度4,800件)
- ・デートDV予防啓発サイトPC版: 平成28年度12,000件
(平成27年度45,000件、平成26年度57,000件、平成25年度61,000件、平成24年度38,000件)
- ・デートDV 予防啓発携帯サイト: 平成28年度210件
(平成27年度500件、平成26年度1,800件、平成25年度5,200件、平成24年度10,500件)

4. デートDV 予防啓発のためツール制作の依頼を受け作成

- ・相模原市より「デートDV 予防啓発カード」15,000枚
- ・東京都中野区より「びいまいせるふ」1,200部
- ・東京都中央区より「デートDV の基礎知識」2,650部

5. 県内外のパネル展示の場を活用し団体を紹介

エイズ文化フォーラムおよび子ども虐待防止学会(JaSPCAN)大阪大会にて、活動紹介の展示と冊子販売、チラシ配布等を行った。

V. リボン・プロジェクト



1. 趣旨

暴力のない社会を目指していくために、エンパワメントかながわが特に必要であると考えた子どもたちにワークショップを提供していく「リボン・プロジェクト」。趣旨に賛同してくださった方からの寄付金、会員の意思で捻出した資金等を活用する。団体ホームページに実施報告を行った。

2. 実施報告

①高校生へのデートDV予防プログラムの提供

クラス単位での2日間のワークショップの中で、高校生一人ひとりに「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通して、人と人とお互いに大切にしよう(尊重しよう)関係であるためにできることを考えることができた。

日時:平成28年10月12日・14日、11月9日・11日

場所:神奈川県内高等学校

参加者:高校1年生 234人

支出:105,519円

②高校生(定時制)へのデートDV予防プログラムの提供

クラス単位でのデートDV予防プログラム(50分×2回)を実施することにより、高校生一人ひとりに「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通して、人と人とお互いに大切にしよう(尊重しよう)関係であるためにできることを考えることができた。

日時:平成28年11月1日

場所:神奈川県内高等学校

参加者:高校2年生 77名

支出:24,339円

③高校生(定時制)への人権ワークショップの提供

具体的なテーマを「いじめ」とし、CAP中学生暴力防止プログラムを取り入れた(60分間)。意見は一人ひとり紙に書くことで表明した。自分は人権を持った大切な存在であり、困ったことや嫌なことは一人で抱えなくてもいいことを伝えた。

日時:平成28年1月18日

場所:神奈川県内高等学校

参加者:高校2年生 27人

支出:12,926円

④高校生(フリースクール)へのデートDV予防プログラムの提供

家族の都合により来日し、不安を抱えていると思われる生徒たちに向けて、日々の生活の中でまず「自分を大切にすること」をデートDV予防プログラムを使って伝えた。

日時:平成29年1月18日

場所:横浜市内

参加者:入国して1年未満で、これから高校に入学する生徒 16~20歳 28人

支出:15,630円

⑤高校生(定時制)へのデートDV予防プログラムの提供

クラス単位でのワークショップ(45分を2日間)を実施することにより、高校生一人ひとりに「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通し、人と人とお互いに大切にしたい関係であるためにできることを考えた。

日時:平成29年2月3日、8日、10日

場所:神奈川県内高等学校

参加者:高校1年生34人

支出:37,411円

VI. 事務局

1. 引き続き事務局長を雇用し、事務局専従者と会計担当者をおいた。
2. ワークショップスタッフ、電話相談員等と業務委託契約を締結した。
3. 平成28年度賛助会費は個人76口、団体3口 平成28年度正会員は22名となった。
4. 毎月1回運営会議を理事4名で開催した。

開催実績 平成28年4月7日、12日、5月6日、6月5日、7月4日、8月4日、9月5日、10月6日
11月9日、12月4日、1月6日、2月7日、3月7日、24日、29日

5. 理事5名で構成されるヴィジョンミーティングを月例会議として開催した。

開催実績 平成28年4月5日、5月9日、6月17日、7月27日、8月30日、10月3日、11月18日
12月19日、平成29年1月24日、3月3日、3月29日

また、中期目標構築のためにヴィジョンワークショップを2回開催した。

6. 入会案内および新入会者への説明資料として、ステップアップマップを作成した。
7. 理事、それぞれが役割を果たせるよう、理事会開催時にも多岐にわたる活動について情報共有に努めた。

理事会開催実績

平成28年5月22日 第1回理事会 ウィリング横浜 出席9名

6月1日 臨時理事会 ウィリング横浜 出席9名

7月31日 第2回理事会 かながわ県民センター706号室 出席8名 委任状1名

9月16日 第3回理事会 かながわ県民センター706号室 出席7名 委任状1名 欠席1名

12月11日 第4回理事会 かながわ県民センター 11階コラボスタジオ 出席8名 欠席1名

平成29年2月25日 第5回理事会 かながわ県民センター 11階コラボスタジオ 出席8名 欠席1名

4月9日 第6回理事会 かながわ県民センター 703号室 出席7名 委任状2名

5月8日 第7回理事会 かながわ県民センター

パートナーシップルーム 出席5名 委任状4名